

令和3年5月14日  
山梨県観光文化部観光文化政策課  
課長 小泉 嘉透  
電話 055-223-1556(内線 4100)

報道関係者各位

令和3年ゴールデンウィーク

## 県内の主な観光施設等の観光客の状況について

～ 期間中の観光客数68万8千人、1日あたり前年の18.3倍 ～

県では、今後の観光振興施策や観光事業関係者の事業展開の参考資料とするため、ゴールデンウィーク期間中に県内の主な観光施設等を訪れた観光客の状況について、各観光施設等へ調査を行いました。調査対象となる観光施設等(66地点)を訪れた観光客数は、延べ約68万8千人でした。1日当たりでは約5万7千人となり、前年の18.3倍となりました。

- 今年のゴールデンウィークは、東京都等で発令された緊急事態宣言により観光客の入込に影響を受けましたが、全国的に緊急事態宣言が発令されていた昨年と異なり、本県の観光施設等の多くは営業を行ったことから、前年比では観光客数は大幅に増加しました。

### 【令和3年と令和2年の比較】

項目	令和3年	令和2年	増減
調査地点数	66地点	69地点 (休業もしくは中止43地点、 一部休業等26地点)	-3地点
調査期間	令和3年4月24日(土)から 令和3年5月5日(水)まで	令和2年4月25日(土)から 令和2年5月6日(水)まで	なし
調査日数	12日間	12日間	
観光客数 (期間全体)	68万8千人	3万8千人	+65万人 (18.3倍)
観光客数 (1日あたり)	5万7千人	3千人	+5万4千人 (18.3倍)

### 【令和3年と令和元年(平成31年)の比較】

項目	令和3年	令和元年(平成31年)	増減
調査地点数	66地点	69地点	-3地点
調査期間	令和3年4月24日(土)から 令和3年5月5日(水)まで	平成31年4月27日(土)から 令和元年5月6日(月)まで	+2日
調査日数	12日間	10日間	
観光客数 (期間全体)	68万8千人	181万3千人	-113万人 (-62.1%)
観光客数 (1日あたり)	5万7千人	18万1千人	-12万4千人 (-68.4%)

【峡 中】

- 峡中圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日あたり前年の8.9倍となりました。
- 「山梨県小瀬スポーツ公園」では、新型コロナウイルスの影響から全施設閉鎖としていた昨年に対して、今年は新型コロナウイルス対策ガイドラインに則り各競技の大会等を開催したことから客数が増加しました。
- 「正の木祭り」は、神事のみを行ったため、参列者のみの参加となり、露店・演芸・交通規制等はいませんでした。

【峡 東】

- 峡東圏域所在の対象施設に係る観光客数は、1日あたり前年の93.5倍となりました。
- 「根津記念館」では、特別企画展の宣伝が各報道機関で放映されてから来館者が増えましたが、緊急事態宣言の影響等により例年に比べると来館者数は少なくなりました。
- 「大菩薩の湯」では、緊急事態宣言の発令されている地域からの観光客の入場を不可とする対応をしたため、観光客数の増加にはつながりませんでした。

【峡 南】

- 峡南圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日あたり前年の12.4倍となりました。
- 「南アルプス早川山菜祭り」は、昨年から引き続き中止となりました。
- 「まほらの湯」では、感染リスクへの不安から、感染者数の増加に伴って入館者数が減少する傾向が見られ、県外客の立寄りも大幅に減少しました。

【峡 北】

- 峡北圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日あたり前年の25.9倍となりました。
- 「道の駅南きよさと（長澤鯉のぼり祭り）」は、昨年から引き続き中止となりました。

【富士・東部】

- 富士・東部圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日あたり前年の23.4倍となりました。
- 「笹一酒造(株)酒遊館」では、昨年はアルコール消毒液の販売で集客があったが、今年はバスツアーの立寄りもなく、来場者は減少しました。

---

備考

- ・ 観光客数とは、県内の主要な観光施設等から報告のあった客数を合計したものです。
- ・ 今年から「道の駅富士川」を調査地点に追加し、閉館となった1施設、感染症の影響により調査への回答が不可となった3施設を調査地点から削除しました。